



# 自治協議会便り

第21号

令和3年（2021年）9月1日発行  
発行責任者 帯山校区自治協議会  
会長 緒方建二

## 自治協議会とコロナ禍



緒方 建二

**帯山校区自治協議会  
会長 緒方建二**  
・このコロナ禍に私たちの活動を考えてみる！

令和三年四月二十三日の総会において自治協議会会長を仰せつかりました。  
その直後の二十五日に「熊本市医療非常事態宣言」が発出され、続きコミセンの休館に伴い五月、六月と役員会も開けぬまま、二十五日になんとか定例会を開催することができました。  
六月二十七日に宣言も解除され、ここから先は、徐々にではありますが自治協議会の各団体の活動も少しずつ再開し始めるといふ段階になつてまいります。  
引き続き警戒は必要ですが、工夫しながらやれば、様々な活動が可能になると考えます。コロナに対する警戒は必要ですが、やみくもに恐れることからは何も生まれません。正しい情報を取り込んで、正しく警戒して、ウィズコロナ

（コロナと共存）の時代を、工夫しながら、乗り越えていく必要があります。

・**新型コロナウイルスは私たち地域社会活動の絶対敵！**

改めて振り返れば、昨年度の行事、特に夏祭り・運動会といった校区の大型イベントが新型コロナ禍の影響で中止になるとともに、各自治会及び各諸団体の活動行事もことごとく中止・延期・縮小を余儀なくされました。今年度になつても厳しい状況が続いており、大都市の感染動向をみますと、今後も、なお厳しい状況下にあるように思います。新型コロナウイルスは人々の暮らしから、集い・触れ合うことを奪いました。そもそも地域社会における自治会及び諸団体等の活動は、集い・触れ合うことで成り立つものであり、二年も続くこの状況にはたしてアフターコロナに元の活動に戻るのかと、多くの方が大変不安に思っております。

・**あの時『チーム帯山』が動いた！**

しかし、このコロナ禍においても、防犯見廻りと交通安全指導はしっかり活動が続けられました。また、五月二十九・三十日には、紫垣まち

づくり委員会会長のご提案により、コミセンと第六町内公民館においてワクチン予約手続きをお手伝いする『予約サポートセンター』を開設し、二日間で百二十五名の方が予約することができました。

市の指定設置場所は『大江公民館』でしたが、『あそこまでは遠くて高齢者は行くことが大変だ』と、各自治会会長・まちづくり委員会・民生委員・コミセン・スポーツ協会・ささえりあ帯山様の有志の方々が立ち上がり、準備・周知期間が二日間と切迫した状況の中で見事に開設できました。まさに『チーム帯山』の面目躍如といったところでしよう。思えば、あの五年前の熊本地震の時に『チーム帯山』が生まれたのでした。

・**もう一度『チーム帯山』で頑張らしましょう！**

「三密」「ソーシャルディスタンス」「リモート」……このコロナ禍がいつれ終息したとしても、これまでのような活動ができるのだろうか、何か新しいやり方があるのではないだろうか、各自治会どうしでは敬老会・サロン等似たような行事がたくさんあります。また、運動会や夏祭りのような校区全体の行事についても、自治協議会全体で

知恵を出し合って、今一度『チーム帯山』の共助精神で頑張る時だと考えます。そこで、各自治会、各諸団体に活動の在り方をお聞きするとともに、これを機会に町内の方々に改めて、わが団体の活動広報・PR・アピールを高めていただき、さらに認知を限り『自治協議会便り』の増ページを計画しました、さらに増刷して校区内の各世帯に配布させていただくことにいたしました。  
改めて、皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



コミセンでワクチン予約手続きをお手伝している様子

令和三年度役員名簿順（最終頁）に掲載しておりますが、文字数で紙面編成の制約があり一部入れ替えています。ご理解の程よろしくお願い致します。

### 新任ご挨拶



原口 健さん

#### 二町内自治会長

副会長 原口 健さん

今年度より帯山第二町内自治会長を拝命いたしました原口健です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。生まれ、育ちは長崎です。熊本帯山に住んで四十五年余りになります。スツカリ・・・熊本弁で話しています。

第二町内は、東バイパスと帯山小学校正門通りの間にある、五百世帯余りの町内です。「安心、安全、住みよいまちづくり」をモットーに理事二十七名で活動しています。

熊本地震の後に世帯数が少しづつ減少傾向にあります。高齢者も多くなり、これからのまちづくりに支え合う、声をかけ合う、百m先の笑顔が見えるまちづくりに取り組んでいきます。コロナ禍で昨年からは、校区、町内行事も中止

になる事が続いています。町内の皆さんと接する機会もなくなっています。もう少し・・・もう少しお互いに我慢しましょう。笑顔で出会える時が来ますよ・・・！

「天命を信じて、

人事を尽くす」

### コロナと共に 歩んだ一年あまり



福田洋二さん

#### 三町内自治会長

理事 福田洋二さん

町内の皆様方には、息災にしてお暮しのことと拝察いたします。昨年四月より、第三町内の自治会長を拝命することになりましたが、同時に「コロナ禍」の洗礼を浴びることになりました。

活動の面では、年度替わりで多忙な時期での「コロナ」の到来でした。話し合い、いろいろなことを決定し、活動を進めて行かなければならぬ

時のコミセンの閉館には、ほとほと困ってしまいました。行政から感染拡大防止のための施策が示され、限られたわずかな可能性のもとで暗中模索の中での自治会活動を行うことになりました。

行事や活動を行う際には、いろいろの手枷、足枷が活動の勢いを鈍らせ、感染拡大防止のための「ソーシャルディスタンス」を守るよう示されました。

コミセンの開館後もスベリ入毎に利用人数が制限され、活動自体をも実施不能となることが増えてきました。

ともあれ、一年以上「コロナ」と共に歩んでいくと、気付きながらも出てきました。生活様式に従って、手洗いやうがい、マスクの着用を励行することで「コロナ」ではない感染症であるインフルエンザがほとんど話題にのぼらず、「コロナ」に対する生活様式を実践することが、「コロナ」以外の感染症の予防に知らないうちに役立っていることに気付かされます。

「共存・共生」の関係ではないかと思われれます。初めて経験する「コロナ」に立ち向かうことは可能なのでしょうか？ 守るべきを守り、耐えるべきを耐え対処することで、活動の枠が少しずつ拡大して来るようにしたいものです。

とは云え、「コロナ」はまだまだ未知な感染症です。「変異株」という怪物も出てきて、熊本の新規感染者数が二ケタを越えているようです。高齢者の方々と共に活動する時、今ひとつ原点到ちかえり、無理のない、危険のない安全・安心の計画を立案・実施して行かなければと考えられている昨今です。

### 新任ご挨拶



橋元千波さん

#### 六町内理事

会計 橋元千波さん

この度、前会計の中村様の後任として任命されました。不慣れなこともあり未熟な点多々あると思いますが、緒方会長のもと皆様方からご指導を頂きながら帯山校区の一員として精一杯努めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



趣味は・・・



仕事は・・・



子ども会会長時の活動の様子





秋山直紀さん

### 新型コロナウイルス感染症と自治会活動

#### 四町内自治会長

理事 秋山直紀さん

新型コロナウイルス感染症発生により自治会活動が制限を受けて約一年半となります。昨年は毎月の自治会役員会を数回、さくらサロン、敬老祝賀会、熊本市春・秋の一斉清掃、地蔵祭りそして校区体育祭、夏祭り、どんどこ等は全て開催を自粛し、本年も同様の状況が続いています。

又自治会総会も二年にわたり開催出来ず書面表決方式をとる事となりました。新型コロナウイルス感染症状況は一進一退を繰り返し、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発出により帯山コミュニティセンターもその都度閉・開館し、開館中も使用人数に制限がある為、町内の皆様と直接お会いできる場がありませんでした。

することができない状況にあります。そのような中でも毎月の三役会議は感染防止対策を徹底して個人宅で開催し、又毎月二十日の夜間防犯パトロール、毎日の帯山小学校児童登校時見守り・下校時見守りパトロール、月一回の町内清掃、定期回覧はなんとか続けることができました。

自治会活動の大きな目的は、サロン、敬老祝賀会、町内清掃、体育祭等で町民の皆様と直接顔を合わせ話し合う場を少しでも多く作る事と思っております。また自治会総会に於いて代表である隣保組長の皆様と一堂に会し、直接意見交換する事も大きな目的の一つです。しかし何をやるにしても先ず新型コロナウイルス感染症を考えると、敬老祝賀会・サロンは人数を制限し分散して開催できないか？ 会議も何か別の方法をとれないか？ 等議論を重ねて行きたいと考えます。

今後、ワクチン接種が進み集団免疫が作られ、新型コロナウイルス感染症の収束が宣言され、マスクを外し皆様と和やかに談笑し飲食を共にして、以前と同じように活動できる事を期待しているところです。しかしそれまでは手洗い励行、マスク着用、三密回避、不要不急の外出自粛等基本的な感染防止対策を徹底しつつ、ウィズコロナで

### 新任ご挨拶



今村 徹さん

#### スポーツ協会会長

監事 今村 徹さん

本年度、校区スポーツ協会の会長に推挙され務めさせていただきます。ただいま三町内の今村です。

「地域の皆さんの健康な体力増進と親睦」を目的に、昨年度より校区体育協会から校区スポーツ協会に名称を変え、現在四十一名の理事で活動を行なっております。

年間の行事は校区体育大会を中心に、グラウンドゴルフ大会、ソフトボール大会、ボウリング大会、ミニバレーボール大会、小学生のドッジボール大会等、各世代に合わせた楽しめるスポーツの親睦大会を計画し実行しています。

「無理をせず、焦らず、できる範囲」で「安全・安心でありつつが飛び交う明るい住みよい楽しい町づくり」を目指して活動して参ります。

特に校区の体育大会は各町内会長様はじめ校長先生、各種団体の皆様のご協力を得て毎年、千人を超える参加者で開催しており校区の恒例行事にもなっています。また、大会を通して町内の皆さんだけでなく他の町内の皆さんとも交流、親睦を図ることが出来る場にもなっています。

お昼のお弁当の時間では世代を超えて町内の皆さんが同じテントの中で、一緒に仲良く食べておられる姿は見ていて実に微笑ましい光景で、これからも長く続いて欲しい校区行事のひとつです。

しかし、昨年から予定しているスポーツ大会や行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、殆どが中止になっており今年度の校区体育大会も中止を決定致しました。

長びくコロナ禍が一日でも早く終息する事を願うとともに、スポーツを通して帯山校区の「まちづくり」に微力ながら務めさせていただきますのでご支援、ご協力をお願い申し上げます。



令和元年10月 飴くい競争



令和元年10月 校区秋季体育大会 開会式





許田重治さん

### 誰かがやらねばならぬ

#### 五町内自治会長

理事 許田重治さん

とうとう回ってきた。今更だだをこねて断る齢でもなし会長を引き受けた。どうせやるなら楽しくやろうと思ってる。

緊急事態宣言発令、自粛中  
目に見えぬコロナではあるが、だからと言って逃げてばかりいても確実に歳をとるばかりである。三密を避けながらやれることが有る筈である。

五町内では会長、副会長三名、会計の三役で月一回会議を開き運営委員会に掛け運営している。実に楽しく実行できる。四月一日から三丁目公園で始めた

ラジオ体操も現在継続中、十月三十一日まで実施予定である。子ども、大人約二十名が参加している月一回の公園清掃もできるだけ実施することになっている。雨でできない時は延期して公園愛護会員の活躍の場となる。コロナの収束が見えたら、自治会主催で三丁目公園特設コースを使ってグラウンドゴルフ大会も計画しようと思っている。



無理せずボチボチ

七町内自治会長 理事 大倉敬治さん  
七町内は国体道路北側、お菓子の香梅、ヤマダ電機境界から西原中前を挟み、託麻台リハビリテーション病院、ダイソー店を含む所です。大きな店とアパート類の多い地域で、広いのですが、世帯数は限られています。  
隣保の四割がアパート類で世帯数の変動も多く、町内全体の戸数が掴みにくい状況です。町内の中心部に東海大学の広い敷地があり、そこにかもめ幼稚園があります。その前が、市のどんぐり公園で、七町内の公民館もそこにあります。このどんぐり公園と公民館が活動の中心で有難いことです。ここでいつも婦人会主催の「どんぐり茶屋」を催し、誰もが集まって来ていたのですが、この所のコロナ禍ですっかり駄目になり寂しい限りです。  
高齢者の桜寿会誕生会も出来なくなり、おしゃべりの



大倉敬治さん

### 帯山七町内の状況紹介

#### 七町内自治会長

理事 大倉敬治さん

場が消えてしまいました。しかし、どんぐり公園は町民の拠り所で、いつも人が絶えません。ここで、公園愛護会、婦人会、桜寿会が主になつた除草や清掃活動が月二回はあり、奉仕活動にとどまらず、大切なふれあいの場となつています。グラウンドゴルフも十分出来、毎週一回集まって、皆でプレーを楽しんでいます。外の活動が今支えなくなっています。もう一つは各お便りです。

繋がりを持っています。高齢者の桜寿会便りも、現在私の方から毎月、行事とお知らせに加え、多少のコメントと季節の挿絵を彩色して配布しております。会員の方とのふれあいが少しでも出来ればという願いもあります。活発な活動が出来ない現在、回覧板や、お便り、資料の配布等に力を注いでいます。今後はスマホ、ライン、パソコンの活用にも重点をおきたいと相談しています。

先ずは自治会便り、毎月会からのお知らせとか、町内や校区の出来事、季節の便り等を手短かに書いておられます。もう百四十八号を迎えました。  
先日、ワクチン接申込の件も大切な話題でした。月行事を大きく載せることで回覧板の大切な役目を担っています。婦人会から毎月発行し、



銀光展応募作を前に ご自宅アトリエにて



### 新任ご挨拶

青少年健全育成協議会会長

監事 板床浩太郎さん

本年度青少年健全育成協議会会長を務めさせて頂きます。板床浩太郎と申します。

帯山校区各種団体の方々、地域の皆様には日頃から沢山の支援ご協力をいただきありがとうございます。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年楽しみにしていた中止される様々なイベント等が中止され大変さみしくおもっております。今後、青少協のドンドヤが出来たら地域の皆様と子どもたちの笑顔を帯山全体に広げたい。

『帯山中学校校区さわやか推進事業』が十月二十三日（土）、『西原中学校区中学生地域交流推進事業』が十一月十三日（土）にそれぞれ実施予定です。



平成31年1月20日（日）開催



堀内昭利さん

### 還付金詐欺に

あわないために

帯山校区防犯協会会長

委員 堀内昭利さん

今期より校区の防犯会長を務めることとなりました。校区の皆様何卒宜しくお願い致します。

さて皆様は熊本県警が発信する「ゆっぴー安心メール」と言うのをご存じでしょうか。このメールは誰でも無料で登録が可能であり、現在県内の管轄署で起きています。タイムリーに流れてきます。職務上私も登録しております。ですが、いつもながら驚かされています。毎日のように県内どこかで起こっている還付金詐欺、またはその未遂事件です。

たはその未遂事件です。役所等を手口は何れも同じで、二のATMに行くように言われて、そこで携帯で指示され、ATMにATMの口座に振り込んでしまおうというものです。もう一度言います。毎日のように

こうした電話が掛かっており、その中で何かがおかしい、詐欺にかかっているという事実は、そこです。皆様がこのように、還付金詐欺にかからないように、絶対に対知っておかねばならない大切なことがあります。

それは  
【銀行のATMというのは自分の口座から相手の口座に振り込む機械であつて、相手から振り込んで貰うような操作は出来ない】  
ということですよ。

私は以前に銀行に勤務していたこともあり、言わば当たり前のことなのですが、案外ご存じない方が多いのではなからうか。この事を知つておれば、「ATMに行つて詐欺だぞ」と聞いただけで、詐欺だぞと判ります。近年、企業における「CSR活動」が叫ばれていると、R活動」が叫ばれていると、では企業は利潤追求のみではなく、社会に対する責任を果たさなければならない。私がおもうにこれ程ATMを利用した還付金詐欺が増えている。現在、詐欺にあわないための対策として、TV、新聞等のメディアを通じて、ATMの機能を皆に紹介して貰いたいものです。

## 校区自治協議会とは（市役所HPより）

校区自治協議会は、自治会をはじめ社会福祉協議会、青少年健全育成協議会、公民館、防犯協会など小学校区の地域団体で構成され、団体相互の連携のもとに、地域活動の推進や地域課題へ対応することにより、円滑な校区運営を図るための組織です。

（帯山校区は平成17年12月25日設立）

### ■団体の概要

#### (1)概要

小学校区単位を基本に、自治会、社会福祉協議会、婦人会、老人クラブ等の地域団体や、学校、企業、行政機関等、地域の様々な団体などで構成する、地域づくりの中心的団体。（構成する団体等は、地域の実情により異なります）

#### (2)設立数

令和3年（2021年）年4月1日現在、91校区4地区の自治協議会が設立されています。

#### (3)設立条件

- ・校区の町内自治会の8割が加入していること。

- ・まちづくり委員会、地域コミュニティセンター運営委員会が設立されている場合は、必ずご加入いただきます。
- ・その他、詳しくは各区役所総務企画課へお問合せください。

### ■活動の概要

- ・地域団体相互の連携  
地域団体のネットワーク化により、団体間の連携を図りながら校区の自立運営を目指します。
- ・情報の共有化  
地域に関する情報を広く収集・発信し、住民の皆さんにコミュニティづくりについて考える材料を提供します。
- ・住民の意見、提案の集約  
広く住民の皆さんの意見や提案を汲み上げ、地域の特性や人材などの地域資源を活用しながら、主体的に地域活動を推進します。
- ・住民と行政との協働  
コミュニティづくりや地域課題に対応するため、地域と行政がそれぞれの役割と責務を担い、協働で取り組みます。



ご自宅にて

**新任ご挨拶**  
**老人クラブ連合会会長**  
**委員 松本清継さん**  
 今年度より帯山校区老人クラブ連合会会長を仰せつかりました一町内老人クラブ万年青会会長松本清継でございます。どうぞよろしく、お願い申し上げます。  
 コロナウイルス感染症の終息がまだまだです、ワクチン接種が終わり終息することが望まれますがまだまだ安心できません、老人クラブの活動も室内で行う行事ができません。屋外で出来る行事を考えなければなりません、皆様のご意見を、お願いいたします。



松本清継さん

**新任ご挨拶**



中山宗紀さん

**帯山小学校PTA会長**

**委員 中山宗紀さん**

今年度帯山小学校PTA会長をさせていただきます。中山宗紀と申します。  
 このような大任を仰せつかったのは、はじめてのことですので、責任の重さを感じております。  
 私は妻と小五、小二の息子二人の四大家族で、帯山校区へは熊本地震の後二〇一六年九月に引越してきました。  
 執行部三年目と経験も浅く、地域の皆様と学校と家庭をつなぐ架け橋としての役割には、いささか頼りない私ではございますが、精一杯務める所存です。よろしくお願いいたします。

昨年、一昨年とPTA活動を通じて、地域の皆様がいかに子どもたちを思い、見守ってくださっているかを切に感じており、感謝申し上げます。次年度です。また、コロナ禍の中でも子どもたちの思い出作りを何かしたいという熱い思いを地域の皆様からたくさん



帯山小 正門付近の様子

聞きました。本当にありがとうございました。私も同じ思いです。執行部一同、同じ思いです。また以前のように地域の皆様と一緒に、楽しく活動したいです。  
 そのためにも、地域の皆様のお知恵を拝借し、ご協力を仰ぎながら、まず一步を踏み出したいと考えております。  
 どうぞご指導、ご鞭撻のほど賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



**令和の新しい時代の、子ども会のために**



片岡史一さん

**子ども育成会会長**

**委員 片岡史一さん**

昨年度より子ども育成会会長を務めております片岡でございます。

皆様ご存じのとおりこのコロナ禍で、他の地域行事と同様、昨年度より子ども会に関する様々な行事も殆ど開催できていない状況です。しかし昨年度末は何とか、卒業する六年生へ向けて音楽会を開催することが出来ました。  
 今年度におきまして、実施できそうな行事も今のところなく、見通しは非常に暗い状況となっております。このまま行事が実施されない状態が続くのであれば、子ども会加入者の減少にさらに拍車がかかってしまうのではないかと危惧しております。

また各町内の子ども会会長さんは年度ごとに交代となっている町内も多く、加えて子ども会育成会の会長・副会長は昨年度より就任という事で

各種の行事の経験が乏しいため、次年度以降にこれまでに様々な行事が再開された際にそれらをどう準備し進めていけばよいのか、また引継ぎなどが上手く出来るのかなど、いろいろ心配な面もあります。なかなか暗い話が多い現状であります。各町内の会長さんたちには、不慣れた部分もありながらも熱心に取り組んでいただいております。  
 このコロナ禍は、これまで前年度より引き継いできた各種行事が一旦すべて中止となつたことで、いろいろなことを見つめなおす機会にもなりました。今置かれている状況を悲嘆するばかりではなく、各町内の会長さんを含め皆さんと協力し、加入者が増えるような子ども会となるにはどうすればよいか、またこれから子ども会のあり方がどうあるべきかなどしっかりと話し合います。  
 そしてより今の時代に即した、魅力のある子ども会づくりにつなげていけたらと考えております。どうぞよろしくお願い致します。







久富信資さん

### コロナ禍の令和二・三年度社協活動

#### 帯山校区社会福祉協議会 コミセン運営委員長

委員 久富信資さん

令和二年二月末、熊本市でコロナ感染者の発生が確認されて以来コミセンの休館が相次ぎ、ふれあい給食会や子育てサロン等、定例の行事も中止せざるを得なくなりました。我々にとつて、最も不可欠な「集いの場」がなくなつたのです。戸別訪問が憚れる中、民生委員の皆さんも活動に苦慮された事でしょう。

感染状況が落ちつきコミセンの開館に合わせて、できる事から進めようと、児童委員さんの働きで十二月には子育てサロンが実施出来ました。感染防止の為、少人数の参加でしたが、心待ちにされていたようでした。ふれあい給食会も半分づつにして



健康相談支援交流会

実施する予定もありましたが、再び休館となつた為、実施できませんでした。こうして活動らしいことは何にもできず一年が過ぎようとしたところ、三月二十日に帯山小学校体育館で「健康相談支援交流会」を社協も協力する立場で開催することができました。応援スタッフも含め、総勢百二十一名の参加で、顔の見える、繋がる感じがいかにかに大切かを改めて感じました。感染防止対策も、手指消毒や検温、町内毎にグループ分けをし、民生委員の皆様には大変お世話になりました。最後に、令和二年度の社協だよりは、上記の交流会と校区の先輩方にコロナ禍での生活状況を投稿いただき、民生委員児童委員の皆さんの紹介欄を掲載し発行することができました。皆様には大変お世話になりました。皆様は早く安心して活動できます様願っております。

### 隣人愛をもって 地域社会づくり



米満美恵子さん

#### 民生児童委員協議会会長

委員 米満美恵子さん

帯山校区民生委員児童委員協議会は、民生委員二十一名主任児童委員二名の二十三名の団体です。私たちは地域の一人暮らしの方や、高齢世帯、障害のある方、そしてひとり親や子育てに悩みのある方など支えが必要な方々に寄り添う活動をしています。一つ一つの事例に対して丁寧に対応し、必要に応じて専門機関を紹介することもあります。今は「ささえりあ帯山」という高齢者支援センターが私たちの活動の大きな支えになっています。

超高齢社会になつたこの時代を、いつまでも自分らしく元気で楽しく暮らしていただきたいという思いで、数年前に高齢者サロンの運営にあたりました。サロンの運営にあたりは各町内自治会の皆様いろいろのご協力いただき感謝申し上げます。みんなで体操をしたり歌を歌ったりゲーム

をしたり、月に一回の集まりを楽しみにされて「元気になつた」「友達ができた」と喜んでおられます。又子育てサロンについては、社会福祉協議会の主催で主任児童委員が中心になり、三歳未満の子どもとお母さんたちを声をかけ、育児ノイローゼなどにならないように悩みを聞いたり民生委員が子どもを遊ばせたり、男性の民生委員も優しい笑顔で絵本の読み聞かせをしたり、手遊びをしましたりして頑張っています。このように社会福祉協議会の行事ではその担い手としても活動しています。



高齢者サロンの様子例

中ばかりで運動不足による体力の低下が心配で、早くサロンを再開しなければと思つてるところです。私たちは隣人愛をもって地域社会づくりに努めるとともに、帯山の皆さんに信頼される民生委員を目標にこれからも頑張っていきます。今はただ、一日も早くコロナが終息し穏やかな日常が戻って来る事を願うばかりです。



子育てサロンの様子例







紫垣正仁さん

### 第十八回夏祭り やむなく中止！

#### まちづくり委員会会長

委員 紫垣正仁さん

七月三十一日（土）開催予定だった第十八回帯山夏祭りが、新型コロナウイルス（以下COVID-19）の感染拡大のため中止となりました。五年を過ぎたあの熊本地震でも皆で知恵を絞って開催に漕ぎ着けたんだから！と考えた方々もいらつしやるのではと拝察致します。しかしワクチン接種が進んだとはいえ、この悩ましく質（たち）の悪いCOVID-19の感染拡大は収束せず、感染力が増した変異株も続出している現在。とても残念な気持ちでいつぱいになりながらも夏祭りにいらつしやる皆さまと、準備を手伝ってくれるボランティアの方々への安全はじめ、準備会議招集の困難、猛暑の中でのマスク着用、準備、片付け等は勿論ですが、何よりも夏祭り当日の三密対策・対応が困難である等の理由から、苦渋の決断をしました。

四月はじめに夏祭りパンフレットの広告作成は、広告集めが自治会や校区団体にたよる部分が多いので感染リスクを考えて、中止と決めていました。が、帯山校区の絆の象徴である夏祭りが今こそわれわれの乾いた心に必要なんだ！と何とか開催できる形はないか模索を続けて来たが故に、無念です。しかし、帯山の希望の灯は消えてはいませんよ！熊本市をはじめ全国でワクチン接種予約問題が持ち上がっていた五月、緒方自治協議会会長を中心に社会福祉協議会の久富会長、民生委員児童委員協議会の米満会長協力の下、自治会等の校区団体が素早く動き、まちづくり委員会がコーディネートを務めながら「コミュニティセンター」と六町内公民館でワクチン接種予約サポートを行い、延べ百五十名近くの方々が利用されました。ここには、ささえりあ帯山の芹川所長はじめスッタッフの皆さん、熊本市の避難所担当職員さんとボランティア職員さんも参画し、感染予防はじめ万全の態勢で執り行われたことで、その後熊本市をはじめとした多くの地域のモデルにもなりました。あらためて帯山校区の底力を痛感した出来事でした。だからこそ、来年は手づくりの夏祭りにおいては勿論ですが、どんどやと校区の成人式



西本 恵さん

### 心をひとつにして

#### 帯山更生保護女性会長

委員 西本 恵さん

昨年来のコロナ禍の中、更生保護女性会が定例行事として年二回の自営会への食事提供が出来ず、本当に残念な思いをしました。本年は、まず九月に一回目を予定しています。担当町内の皆様の心のこもった料理が届けられ、自営会の方々に喜んで頂けることを願っている所です。

きつと、当り前に活動できる日が訪れることを信じ、楽しく笑顔で心をついにし、困難を乗り越えましょう。「自営会」とは、・刑務所等を出所しても、帰る所や仕事が無い人が多く、その人達（およそ二十五名位）を半年から一年位受け入れる

（八タチの集い）を含めて校区の様々な行事が開催され、皆さんと笑顔でお逢いできることを心から心から切願し、結びと致します。  
**祈！コロナ退散！！**

「住まいがあれば 明日を信じられる」  
施設です。その間に住む場所や仕事を見つけないです。そこへ、熊本市内の更生保護女性会より、毎月一回夕食のサービスを行っていただきます。施設では、その時に誕生会もさせていただきます。

「仕事があれば 自分を信じられる」  
の気持ちをお大切に「仕事」「居場所」を早く確保できるように支援されている所です。

### コロナ禍に想う

#### 帯山校区婦人会長（代筆）

五町内婦人会長 坂田スズ子さん

新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止となり、終息を願ってもなかなか先の見通しが見えない状況ではあります。が、校区婦人会は、春のレクレーションを、三月二十七日錦ヶ丘公園で実施しました。五十六名の参加で、広い公園なので間隔を取り、体操、ダンスで体を動かし、久し振りに皆さんと会う事が出来て楽しい時間を過ごせました。人と人のつながり「和」がこんなにも元氣、勇気を与えてくれる、この時ばかりは足も軽やかでした。又、五町内婦人会は、四月

二十四日、三丁目公園でゴキブリ団子作りをしました。年に二回春と秋に作っています。団子は会員へ配る物と、ご近所の方々へも差し上げ、婦人会へお誘いをし、五名の方に快く入会していただきました。三町内・四町内も団子作りをされています。資源物回収は、コロナは関係無く、全町内で行っています。五町内は七ヶ所にて回収しています。が、最近では分別が出来ていないルール違反が目立って困っています。アルミ缶、スチール缶、古紙など、資源として再利用される物も多く、環境保全に努め、資源を大切に心がけ、一人ひとりがマナーを守り、きれいな町内にします。こんな私たちの行動が、子ども達にも十分伝わって行くことでしょうか。婦人会も高齢化してきました。若い人達のためにも必要となってきました。これからの町づくりの一環として、是非とも、ご協力をよろしくお願い致します。



ゴキブリ団子





中島鉄雄さん

### 帯山校区交通安全協会 活動状況報告

#### 東地区交通安全協会

帯山支部長  
委員 中島鉄雄さん

日頃より、交通安全協会に  
対しまして、自治協議会も  
とより、校区住民の皆様には  
ご理解とご支援、ご協力を頂  
き感謝申し上げます。

交通安全協会は、校区の交  
通安全を守るために街頭指導  
啓発活動を主として活動して  
おります。コロナ禍の中でも  
感染予防対策を徹底し、登校  
時の街頭指導は継続していま  
す。その他、新一年生交通安  
全教室、三年生自転車教室、  
緊急時帰宅訓練等を行ってお  
ります。従来東警察署が主導  
されていましたがコロナ禍に  
より、昨年から交通安全協会  
が主体となり全指導員の協力  
の元、実施しております。  
通常の活動の他、最近の取  
り組みについて紹介します。

#### 一、「飛び出し事故防止」 の物的対策

飛び出し事故が起こりやす  
い箇所に「足型止まれ」の、  
標識を各町内にも協力を依頼  
し、六十枚設置しました。設  
置については、学校に報告し、  
生徒にも周知されています。

#### 二、街頭指導の強化

(一) 自転車のマナー・  
ルール違反に対する指導  
国道道路（通称）歩道上に  
おける一斉指導、チラシ配布  
を四月に実施しました。  
指導にあたっては、東警察署  
員の参加の元、全交通安全指  
導員で実施しました。

(二) 生徒下校時一斉指導  
通行中の安全確認を中心に、  
場所を決めて集中  
指導を行う。これ  
は、下校時の生徒  
達の様子から安全  
確認が不十分であ  
る状況が散見され  
交通事故の危険を  
感じため、年に  
二回集中指導を行  
うことを決定致し  
ました。前記一、  
二については、指  
導員会議に諮り、  
賛同を頂いており  
今年度より定例活  
動として実施する  
予定です。交通指  
導員数は、入れ替  
わりがありました  
が、本年度は一名  
増員され十六名体  
制で活動しており

ます。増員のご協力ありがと  
うございました。  
しかしながら、指導員の高  
齢化は進んでおり、半数近く  
が八十才を超えています。  
校区の交通安全を守る活  
動を継続する為にも、各自治  
会で現指導員と相談の上、検  
討いただく様お願い致します。  
帯山校区交通安全協会は、  
高齢者よりもより未来ある子  
ども達を交通事故から守り、  
安心、安全な町作りの為、  
一層努力したいと思っております。

今後ともご支援、ご協力を  
頂けたら幸いです。



登校時の街頭指導

#### 消防団として思うこと



畑田富夫さん

#### 消防団第七分団長

委員 畑田富夫さん

私は帯山消防団の分団長と  
して大きな責務を委嘱され  
ています。今回は消防団の分  
長としての視点から述べさ  
せていただきます。

建物火災等の出火原因とし  
てあげられるのが焚き火、放  
火、天ぷら油です。  
これまでは放火が一位でし  
たが、二年程前からは焚き火  
が一位となっております。

放火は他人が悪意を持って  
行う行為なので 防ぎようが  
ないと思われるかも知れませ  
んが、自分で防げる可能性が  
ある犯罪です。例えば建物の  
周囲に段ボールや新聞紙など  
を簡単に放置しないなど、放  
火させにくい環境を作ること  
も可能です。

大切な命と貴重な自宅、財  
産等を守るために一人ひとり  
が防火意識をしつかり持つこ  
とが大切だと再認識させられ  
ます。

最後に、帯山消防団も年々  
団員の高齢化も含め、後継者  
不足で深刻な悩みを抱きなが  
ら、万一の消防団活動等に対  
応してはいますが、このような  
状況をご理解していただき、  
勇気と郷土帯山のため、消防  
団にご加入をお願い致します。



郷土帯山のため、消防団で頑張りましょう



### 新任ご挨拶

#### 帯山地域 スポーツクラブ会長 委員 中村啓一さん

本年四月から前任の玉屋会長の後を引き継ぎました。帯山地域スポーツクラブ(帯スポ)は、子どもから高齢者まで約二百人が帯山小学校の体育館やグラウンド、帯山コミセンなどで、バレーボール、卓球、グラウンドゴルフなどの球技や、太極拳、エアロビクス&ヨガなど健康増進のプログラムを行っています。どの種目も、和気あいあいの雰囲気の中、時には歓声を上げたりして楽しんでもらっています。会員同士が互いに教えあったりして、少しでもうまくなるよう頑張っている姿もみられます。卓球やバドミントンなどでは、年配の方や中学生が、子どもたちに教えることもあり、世代を超えた交流もあります。自治協から助成をいただいた健康フェスタでは、健康チェックや各種相談の機会を設けています。まちづくり委員会主催の夏祭りではヨーヨー釣りで参加しています。

帯スポの運営は会員の会費で賄っており、年間大人六千円、六十五歳以上の高齢者と高校生以下は四千円となっており、手軽に参加でき、二種目以上の参加も可能です。



帯山小でグラウンドゴルフ

六月二十八日(月)から活動を再開しました。コロナ対策にも注意を払い、手や器具の消毒、室内の換気に努めて活動しています。安心してご参加ください。

帯スポでは、日ごろ顔を合わせない他町内の方々と親しくなれる場でもあり、校区の皆様方のスポーツに親しむ場や健康増進の機会に利用いただければ幸いです。スポーツをやった経験のある方も、これから始めようという方も大歓迎です。毎週一〜二時間の運動で体も心もリフレッシュしてみませんか。無料体験もありますので、是非、自由に見学していただき、一緒にさわやかな汗を流しましょう。



西方浩一さん

#### 「愛(合い)のある子供が 主役の学校づくり」を 目指して

#### 熊本市立帯山小学校 校長 顧問 西方浩一さん

四月に赴任してまいりました西方浩一と申します。よろしくお願ひいたします。今年も学校は、運動会の延期、部活動や社会体育の活動停止などコロナ禍による様々な影響を受けています。そのような中、保護者や地域の力をお借りしながらPTA活動や緊急時児童引渡し訓練など、コロナ禍だからやめるではなく、どのようにしたらできるかと考えながら実施しているところでです。

本年度、本校では「心豊かで、自ら進んで学び、たくましく生きる子供の育成」という学校教育目標を掲げ「愛(合い)のある子供が主役の学校づくり」に取り組んでいます。「仲良く助け合い」、「進んで学び合い」、「笑顔で挨拶」を具体的な努力目標として頑張っています。また、

職員は「自己存在感・共感的な人間関係・自己決定の場」という「生徒指導の三機能を生かした授業改善」に取り組んでいます。

さて、地域の皆様は、帯山小学校のホームページをご存知ですか。その中には、毎月発行している「帯山小学校便り」も掲載しています。その中身を二、三例紹介しますと、地域の方から本校の子供が落とした名札を心温まるお手紙とともに学校へ送っていたこと、六月に行った「いじめ根絶強化月間」のこと、定期的に来校されるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの紹介などです。

最後に、これも学校便りで紹介した子供の言葉ですが、「三密避けても心は密で」。本校児童会の計画委員長が考えた言葉です。こんな時代だからこそそうありたいと思います。

今後も「地域の子供は地域で育てる」という帯山校区の伝統を守ってまいります。帯山校区の子供たちをどうぞよろしくお願ひいたします。



帯山小の児童のみなさん





浦邊 亮一さん

### 帯中生としての『自覚』と『矜持』を持つ生徒の育成を目指して

熊本市立帯山中学校 校長

顧問 浦邊亮一さん

地域の皆様方におかれましてはますますご健勝のことと拝察いたします。

本校に赴任し、四年目を迎えました。赴任以来本校への皆様方の思いやご期待をお聞きするにつけ自らの重責に身の引き締まる思いです。

昨年来のコロナ禍が生徒たちにもいろいろな負荷をかけておりますことは皆様もご承知のことだと思います。日常の授業におきましては教科によつては学習内容や方法の変更を余儀なくされております。部活動等におきましても昨年度は種々の大会やコンクール等も軒並み中止となり、特に昨年度の三年生には辛い思いをさせました。今年度に入り、徐々に規制も緩和されつつあり、いろいろな場面で本校の生徒たちは活躍しています。生徒たちの与えられた状況下

で力を尽くそうとする前向きな頑張りには私たち職員が元気をもらい、嬉しく、そのよくな生徒たちを頼もしく思いました。地域や保護者の温かい思いや期待を素直な気持ちで受け止め、帯中生として、誇り高く自らの為すべきことを誠実に、そして全力でやり遂げることができるような生徒となつてくれるよう大きな期待を持っていてるところです。

開校以来の校舎がなくなることにつきましては地域のお住いの多くの卒業生の皆様は大きな寂しさを感じられることと思います。これまで本校にかかわつたくださった皆様の中の旧校舎の残像と思い出を残していただきつつ、これからの帯中生を育てる新しい「学び舎」の威容を楽しみにお待ちいただきますよう。

さて皆様にお知らせがございます。熊本地震による被害に北側校舎の改築に続き、南側校舎につきましても改築の計画が現在進行中です。校舎の建設が開始され竣工に至るまでにはまだまだ時間がかかります。途中プレハブ校舎での学校教育活動にならざるを得ず、工事期間中は何かと地域の皆様にも迷惑がかかります。



帯山中の生徒のみなさん

### 新任ご挨拶



河津 陽美さん

### 中央区まちづくりセンター

河津陽美さん

中央区まちづくりセンターの河津と申します。今年度から、地域担当職員として帯山校区を担当しています。

帯山校区の皆さまには、日頃より地域におけるまちづくりの推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度から、新型コロナウイルスの影響により、外出の自粛や、イベントの延期、中止が求められるなか、公民館やコミュニティセンター等は休館を余儀なくされ、地域においても各行事をはじめとした地域活動の実施が難しい状況が続いていることと思っております。

このような状況の中、帯山校区では、会議を画面開催に代えたり、これまでの活動に消毒、換気、マスク着用といった感染防止対策を取り入れながら、地域活動継続のためにご尽力いただき、

深く感謝申し上げます。また、新型コロナウイルスワクチン接種の予約にあたっては、インターネット予約に不安のある方のため、戸別にお声掛けをされたり、コミュニティセンター等を会場とした地域独自の「予約サポートセンター」を開設されました。地域の実情に即した迅速なこの取組は、熊本市が目指す「『おたがいさま』で支え合う地域コミュニティ」がしつかりと形成されている証であり、帯山校区のパワーを感じました。

まちづくりセンターでは、地域で皆さまが行うまちづくり活動について、お困りごとに関する相談対応や、活動にお役立ていただける行政情報提供などを行っております。特に市役所は部署の数も多く、「どこに相談すればよいかわからない」といったお困りごともあるかと思っております。まずはまちづくりセンターへお気軽にご連絡いただければと思います。私も地域担当職員として、課題解決に向けて皆様と一緒に考えながら取り組んで参りますので、これからどうぞよろしくお願いたします。



熊本市の市鳥 シジウカラ (市HPより)



令和3年度  
帯山校区自治協議会役員

令和3年度  
帯山校区自治協議会運営計画書

役職名	氏名	所属団体名
会 長	緒方 建二	6 町内自治会長
		6 町内公民館長
副会長	原口 健	2 町内自治会長
副会長	林 良助	1 町内自治会長
理 事	福田 洋二	3 町内自治会長
理 事	秋山 直紀	4 町内自治会長
理 事	許田 重治	5 町内自治会長
理 事	大倉 敬治	7 町内自治会長
会 計	橋元 千波	6 町内理事
監 事	今村 徹	スポーツ協会会長
監 事	板床 浩太郎	青少年健全育成協議会会長
委 員	堀内 昭利	防犯協会会長
委 員	松本 清継	老人クラブ連合会長
委 員	中山 宗紀	帯山小学校PTA会長
委 員	片岡 史一	子ども育成会会長
委 員	久富 信資	社会福祉協議会会長 コミセン運営委員長
委 員	米満 美恵子	民生児童委員協議会会長
委 員	紫垣 正仁	まちづくり委員会会長
委 員	西本 恵	帯山校区婦人会長
委 員	西本 恵	更生保護女性会長
委 員	竹中 豊子	7 町内公民館長
委 員	中島 鉄雄	東地区交通安全協会 帯山支部長
委 員	畑田 富夫	消防団第7分団長
委 員	中村 啓一	帯山地域スポーツクラブ会長
顧 問	西方 浩一	帯山小学校校長
顧 問	浦邊 亮一	帯山中学校校長

(敬称略)

月	日	項目	内 容
4	6	監査	会計監査
	7	役員会	総会内容と準備について
	23	総会	令和2年度運営・収支決算報告及び監査報告 令和3年度運営計画案・収支予算案審議 他
5	6	役員会	行事内容、校区諸課題等について
6	9	役員会	各団体の本年年度の活動
	6	校区行事	春の一斉清掃
7	25	定例会	各団体の本年年度の活動
	7	役員会	校区諸課題について
8	7	校区行事	校区夏祭り
	4	役員会	校区諸課題について、「自治協便り」発刊について
9	27	定例会	「自治協便り」発刊について
	1	役員会	校区諸課題について
10	6	役員会	校区諸課題について、視察研修について
		校区行事	校区体育大会
		校区行事	帯山健康フェスティバル
	25	定例会	視察研修について、避難所運営訓練について
11		校区行事	秋の一斉清掃
	1~3	校区行事	校区文化祭
	4	役員会	校区諸課題・視察研修・避難所運営訓練について
12		研修会	視察研修
	1	役員会	校区諸課題について、避難所運営訓練について
	23	定例会	各団体の諸課題について
1	5	役員会	校区諸課題について
		校区行事	ハタチの集い
		校区行事	どんどや
2		校区行事	コミセンふれあいの集い
	2	役員会	校区諸課題について、各種団体総会の同日開催について
	25	定例会	各種団体総会の同日開催について
3	2	役員会	本年度の活動の反省と次年度の志向
通 年		防犯安全パトロール	児童安全パトロール（毎週）
			防犯推進委員パトロール（毎月）
			年末防犯パトロール
		交通安全パトロール	朝の交通指導

編集後記

「退職金割増し」+「雇用保険三百三十日付」に目が眩み、五十八歳で半導体関係の会社を早期退職し早や十三年となりました。のりたん菌の爽快感でした。のりたん菌の爽快感でしてセカンドジョブの自慢です。育成の権威も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も」

「退職金割増し」+「雇用保険三百三十日付」に目が眩み、五十八歳で半導体関係の会社を早期退職し早や十三年となりました。のりたん菌の爽快感でした。のりたん菌の爽快感でしてセカンドジョブの自慢です。育成の権威も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も」

「退職金割増し」+「雇用保険三百三十日付」に目が眩み、五十八歳で半導体関係の会社を早期退職し早や十三年となりました。のりたん菌の爽快感でした。のりたん菌の爽快感でしてセカンドジョブの自慢です。育成の権威も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も」

「退職金割増し」+「雇用保険三百三十日付」に目が眩み、五十八歳で半導体関係の会社を早期退職し早や十三年となりました。のりたん菌の爽快感でした。のりたん菌の爽快感でしてセカンドジョブの自慢です。育成の権威も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も」

「退職金割増し」+「雇用保険三百三十日付」に目が眩み、五十八歳で半導体関係の会社を早期退職し早や十三年となりました。のりたん菌の爽快感でした。のりたん菌の爽快感でしてセカンドジョブの自慢です。育成の権威も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も」

「退職金割増し」+「雇用保険三百三十日付」に目が眩み、五十八歳で半導体関係の会社を早期退職し早や十三年となりました。のりたん菌の爽快感でした。のりたん菌の爽快感でしてセカンドジョブの自慢です。育成の権威も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も」

「退職金割増し」+「雇用保険三百三十日付」に目が眩み、五十八歳で半導体関係の会社を早期退職し早や十三年となりました。のりたん菌の爽快感でした。のりたん菌の爽快感でしてセカンドジョブの自慢です。育成の権威も痛くはない。著者も「快作が必須です。著作権も痛くはない。著者も」

六町内（広報）木村